

平成 30 年度 事務事業評価(平成29年度実施事業事後評価)シート / 平成 31 年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報 <small>☞ 位置付けられている計画等で「その他の計画」が複数ある場合は、代表的なものを1つ記入してください。また、該当する根拠法令及び市条例等が複数ある場合、代表的なものを1～2個記入してください。</small>																				
事務事業名	食の自立支援事業費			補助区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国補 <input checked="" type="checkbox"/> 県補 <input type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (平成 年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	介護保険特別会計		款	3	項	2	目	2	事業	2	
担当部	保健福祉部		担当課	高齢福祉課		担当係	在宅福祉 係		作成者	秋葉利恵子		内線(電話番号)	4250		シート作成日	H30.10.24		部長決裁日	H30.10.24	
位置付けられている計画等	<input type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画 (名称 : 常総市高齢者プラン)				根拠法令及び市条例等		<input checked="" type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称 : 介護保険法) <input checked="" type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称 : 地域支援事業実施要綱) <input checked="" type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称 : 常総市生活支援配食サービス事業実施要綱)													

2 事務事業の目的 <small>☞ 当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か?→ ②一方で、「現状や課題」はどうか?→ ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。</small>					
現状課題	「地域支援事業実施要綱」「任意事業」「その他の事業」「地域支援事業を活用したネットワーク形成に資する事業」の中で実施している事業。高齢者の見守りを目的に行われている事業であるが、家族介護支援事業同様、今後、厚生労働省の方針で縮小されていく見込み。新たな対応策を準備する必要がある。	誰・何を対象に どのよう な方法・ 手順で	心身の障がい等により調理が困難なおおむね65歳以上の単身世帯または高齢者のみ世帯 介護保険事業所に委託し、対象者宅へ配食を行っている。届けた時と入れ物の回収の際に本人に面接し、本人の健康状態等を確認している。	望ましい状態	—

3 事務事業の主たる成果指標 <small>☞ 数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。</small>									
指標名	単位	目標値	目標年次	平成	年度	指標及び目標値設定の考え方 (又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	見守りを希望する者からの申請により調査を行い対象者を決定している事業のため目標値設定は困難である。		

4 事務事業の実績 ① <small>☞ 当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。</small>															
年度	平成27年度			平成28年度			平成29年度								
	業務名			業務名			業務名								
	活動量			活動量			活動量								
事務事業を構成する主な業務	① 委託先事業所との委託契約の取り交わし			① 委託先事業所との委託契約の取り交わし			① 委託先事業所との委託契約の取り交わし								
	② 利用希望者からの申請を受ける			② 利用希望者からの申請を受ける			② 利用希望者からの申請を受ける								
	③ 申請者に訪問し現状の確認			③ 申請者に訪問し現状の確認			③ 申請者に訪問し現状の確認								
	④ ③の結果を踏まえ、事業対象者となりうるか課内で協議			④ ③の結果を踏まえ、事業対象者となりうるか課内で協議			④ ③の結果を踏まえ、事業対象者となりうるか課内で協議								
	⑤ 委託先に連絡			⑤ 委託先に連絡			⑤ 委託先に連絡								
	⑥ 委託先が利用希望者宅に訪問。配食の曜日等を打合せ			⑥ 委託先が利用希望者宅に訪問。配食の曜日等を打合せ			⑥ 委託先が利用希望者宅に訪問。配食の曜日等を打合せ								
	⑦ 配食開始			⑦ 配食開始			⑦ 配食開始								
	⑧ 配食時、利用者の様子に変化があれば市に連絡			⑧ 配食時、利用者の様子に変化があれば市に連絡			⑧ 配食時、利用者の様子に変化があれば市に連絡								
	⑨ ⑧を受け担当係で状況確認。必要に応じて対応。			⑨ ⑧を受け担当係で状況確認。必要に応じて対応。			⑨ ⑧を受け担当係で状況確認。必要に応じて対応。								
	⑩ 入利用中断・再開等の連絡を受け委託先へ連絡			⑩ 入利用中断・再開等の連絡を受け委託先へ連絡			⑩ 入利用中断・再開等の連絡を受け委託先へ連絡								
	⑪ 委託先からの請求に基づき請求書の処理			⑪ 委託先からの請求に基づき請求書の処理			⑪ 委託先からの請求に基づき請求書の処理								
	⑫			⑫			⑫								
目標値に対する実績値			目標値に対する実績値			目標値に対する実績値									
決算額	計	6,323,294 円	内訳	特定財源	5,090,252 円	計	4,732,200 円	内訳	特定財源	3,809,421 円	計	5,127,529 円	内訳	特定財源	4,127,661 円
				一般財源	1,233,042 円				一般財源	922,779 円				一般財源	999,868 円
		(住民一人あたりの行政コスト)	102 円		(住民一人あたりの行政コスト)	78 円		(住民一人あたりの行政コスト)	85 円						

5 担当者評価 ② <small>☞ 実施したことによる成果や問題点を記入してください。</small>		
成果	目標は設定していない	利用件数 [H27年度]76名, [H28年度]70名, [H29年度]86名 ※上記は、実際に稼働していた人数であり名簿で管理すると中止になったままの方、初めて開始される方もいるため、H29年度は116名となる。
問題点	現在の配食は、1食に対し自己負担300円、地域支援事業から600円を拠出して実施している。地域支援事業実施要綱等の改正により食材料及び調理費相当分は利用者負担とすることが明記された。また、地域支援事業の総合事業にも栄養改善を目的とした配食事業は示されている。総合事業の配食はケアプランに基づき実施することとされているため期間限定事業として実施することとなる。以上のことから、本事業の実施方法については、検討を開始する必要がある。	

6 担当部長及び担当課長評価 ③ <small>☞ 担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。</small>		
事務事業の方向性		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
評価理由	本事業は、地域支援事業として国の交付金の対象事業として実施している事業であり、高齢者の見守り・栄養改善を目的として実施している事業であります。しかし、この事業について国より、縮小して行く旨の方針が示されており、今後、事業の縮小、内容等の見直し又は新たな対応策を検討する必要があります。	

7 実施計画 ④ <small>☞ 今後3年間の事業内容について、どのようなことを実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。</small>									
年度	平成30年度			平成31年度			平成32年度		
事業内容	委託先事業所との委託契約の取り交わし 利用希望者からの申請を受ける 申請者に訪問し現状の確認 結果を踏まえ、事業対象者となりうるか課内で協議 委託先に連絡 委託先が利用希望者宅に訪問。配食の曜日等を打合せ 配食開始 配食時、利用者の様子に変化があれば市に連絡 連絡を受け担当係で状況確認。必要に応じて対応。 入利用中断・再開等の連絡を受け委託先へ連絡 委託先からの請求に基づき請求書の処理			①上記及び左記の事業に加え、利用者、及び、現在当事業の委託を受託している介護保険事業所等に対し、現状把握のため、アンケート調査を行います。 ②市内の高齢者宅等にお弁当等を配達している市内外の一般企業に対しても、現状把握及び事業への参入が可能か等についてアンケート調査を行います。 ③①②を踏まえ、代替案の検討を行います。代替案が出来た時点で、関連する企業等と実施方法を検討します。 ④③を平成31年度に実施し、平成32年度には代替え対策を開始できるよう作業を進めます。			※左記の状況により、内容が変化するため現時点ではこの欄に記入できません。		
	予算額	歳出	計	5,472 千円	歳出	計	5,472 千円	歳出	計
		特定財源	4,419 千円		特定財源	4,419 千円		特定財源	4,419 千円
	歳入	一般財源	1,053 千円	歳入	一般財源	1,053 千円	歳入	一般財源	1,053 千円
		計	5,472 千円		計	5,472 千円		計	5,472 千円

8 財務アドバイザーの見解	
『常総市財政健全化計画』では、平成29～31年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は平成31年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については平成30年度の一般財源予算額から縮小した金額での予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。	

9 行政改革懇談会(市民)の意見	
担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。食に関する地道な活動であり、なくてはならない事業であることは理解できるが、地域支援事業の対象外となることが分かっている以上、存続か廃止かの見直しをすべきであると考えられる。ただし、高齢者の見守り及び栄養改善を目的としているので、縮小や廃止をする場合の代替策の検討も必要である。	

10 最終評価(行政改革推進本部) ⑤		
事務事業の方向性		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
評価理由	本事業は、高齢者の見守りや栄養改善を目的として、国の地域支援事業の交付金対象事業として行っている。現在、国より交付金を縮小していくとの方針が出されていることを鑑みると事業の縮小はやむを得ないことと考えられるが、高齢者の見守りについては、高齢者世帯の増加とともに代替えの施策等の検討も必要と思われる。	

11 事務事業の改善理由 ⑥ <small>☞ 実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止廃止部分もこの欄に記入してください。</small>	
事業内容	当事業は昼食のみで週3回まで利用することができますが、利用されている方からは朝食や夕食の対応、回数を増やしてほしい等のご希望があります。また、国の要綱では、食材料費及び調理費相当分については利用者負担とすることを基本とするが低所得者への配慮も考慮することと示されており、上記、行政懇談会のご意見にもあるように、代替策と併せて事業の縮小を進めます。例えば、一般企業等と連携し見守りの役割を果たせるような事業も検討いたします。